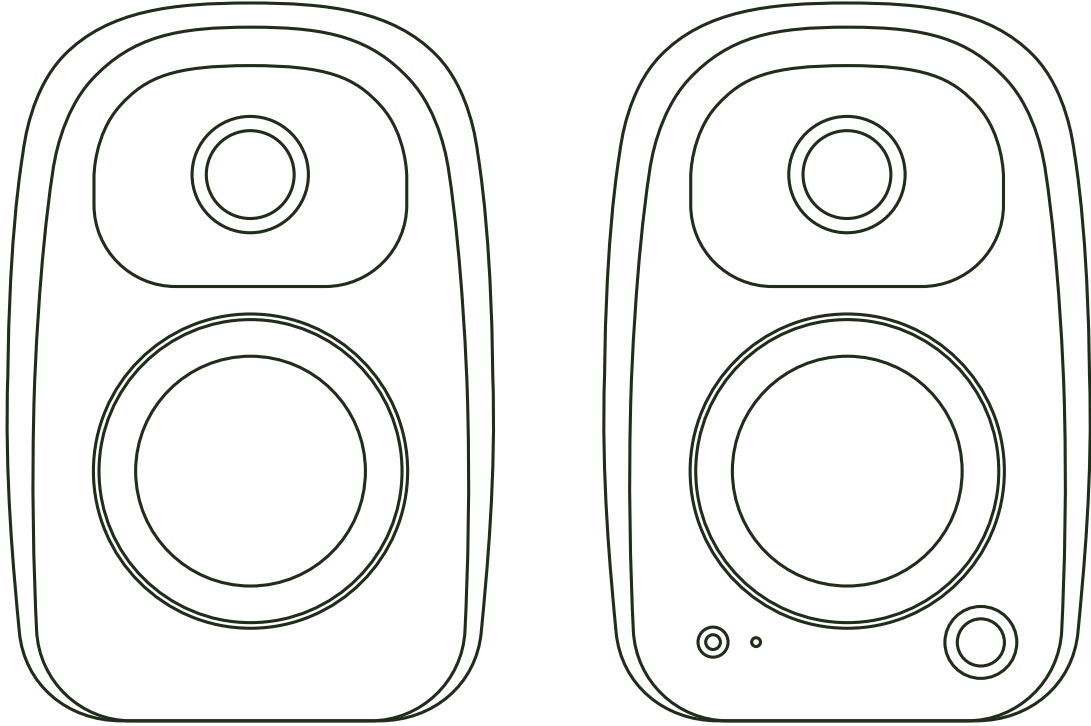


# UKI

デスクトップスピーカー



**KANTO**

日本語ユーザーマニュアル

# 重要な安全上の注意事項



## 注意

正三角形の中に感嘆符が付いているのは、装置に付属の資料に重要な操作およびメンテナンス(サービス)の指示が記載されていることをユーザーに知らせるためのものです。

## 注意

感電の危険があります  
開けないでください

注意:感電の危険を避けるため、背面パネルを取り外さないでください。内部にはユーザーが修理可能な部品はありません。修理は資格のあるサービス担当者にご相談ください。



## 危険電圧

正三角形の中に矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内に絶縁されていない「危険電圧」が存在することをユーザーに警告することを目的としています。この電圧は、人体に感電の危険をもたらすほどのものです。

- この説明書をお読みください。
- この説明書を保管してください。
- 全ての警告にご注意ください。
- 機器を水の近くで使用しないでください。
- お手入れは乾いた布でのみ行ってください。
- 通気口を塞がないでください。
- ラジエーター、ヒーター、ストーブ、その他
- 熱を発生する機器(アンプを含む)などの熱源の近くに設置しないでください。
- 電源コードを踏んだり挟んだりしないでください。
- スタンドを使用する場合は、スタンドと装置の組み合わせを移動するときに、転倒による怪我を避けるために注意してください。
- 雷雨のときや長期間使用しない場合は、この装置のプラグを抜いてください。
- すべての修理は、資格のあるサービス担当者にご依頼ください。電源コードやプラグが破損した場合、液体がこぼれた場合や異物が装置内に落ちた場合、装置が雨や湿気にさらされた場合、装置が正常に動作しない場合、装置を落とした場合など、装置が何らかの損傷を受けた場合は、修理が必要です。
- 装置は、保護接地接続付きの主電源ソケット コンセントに接続する必要があります。
- 機器入力カプラは切断装置として使用されます。切断装置はすぐに操作できる状態にしておく必要があります。

## FCCに関する警告

本製品はFCC規則第15部に準拠しています。操作には以下の2つの条件が適用されます。(1) 本製品は有害な干渉を引き起こしてはなりません。(2) 本製品は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、受信したあらゆる干渉を受け入れなければなりません。

適合責任者の明示的な承認なしに本製品を変更または改造した場合、ユーザーの本製品を操作する権限が無効になる場合があります。

注:本製品は、FCC規則第15部にに基づき、クラスBデジタル機器の制限事項に準拠していることがテストで確認されています。これらの制限事項は、住宅内での設置において有害な干渉に対する適切な保護を提供するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを生成、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合には、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置において干渉が発生しないことを保証するものではありません。本製品がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こしている場合(本製品の電源のオン/オフを切り替えることで確認できます)、ユーザーは以下の1つ以上の対策を講じて干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、設置場所を変えてください。
- 本装置と受信機の距離を広げてください。
- 本装置を、受信機が接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者にご相談ください。本装置は、制御されていない環境に対して定められたFCCの放射線曝露制限に準拠しています。本装置は、放射体と人体の間に最低20cmの距離を置いて設置および操作してください。

## IC警告

本無線送信機は、カナダ産業省の承認を受けています。

本クラスBデジタル機器は、カナダ規格ICES-003に準拠しています。本装置は、カナダ産業省の免許免除RSS規格に準拠しています。操作には、以下の2つの条件が適用されます。

(1) 本装置は干渉を引き起こしてはなりません。また、(2) 本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

本装置は、制御されていない環境に対して定められたISEDの放射線曝露限度に準拠しています。本装置は、放射体と人体の間に最低20cmの距離を置いて設置および操作する必要があります。

## IC警告

この無線送信機は、カナダ産業省の承認を受けています。

このクラスBデジタル機器は、カナダのICES-003に準拠しています。本機器は、カナダ産業省の免許免除RSS規格に準拠しています。操作には、以下の2つの条件が適用されます。

(1) 本機器は干渉を引き起こしてはなりません。(2) 本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

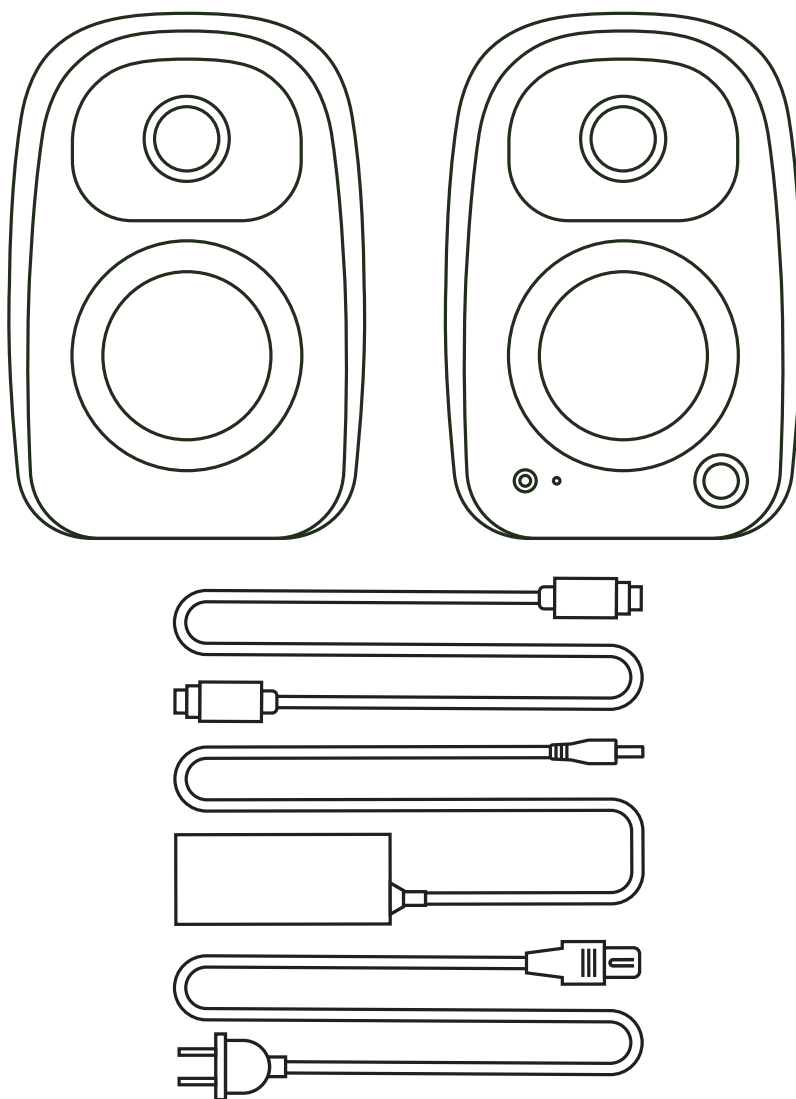
本機器は、制御されていない環境に対して定められたISEDの放射線曝露限度に準拠しています。本機器は、人体および送信機から最低20cmの距離を置いて設置および操作する必要があります。

## はじめに

カナダのKanto社が設計したUkiをお選びいただきありがとうございます。これらのパワードスピーカーは、製造段階、梱包、出荷前に入念なテストと検査を受けています。開梱後は、損傷がないかご確認ください。輸送中に製品が損傷することは稀ですが、万が一損傷した場合は、すぐに販売店にご連絡ください。

Kanto社まで直接お電話(1-888-848-2643)いただくか、support@kantoliving.comまでメールでご連絡ください。

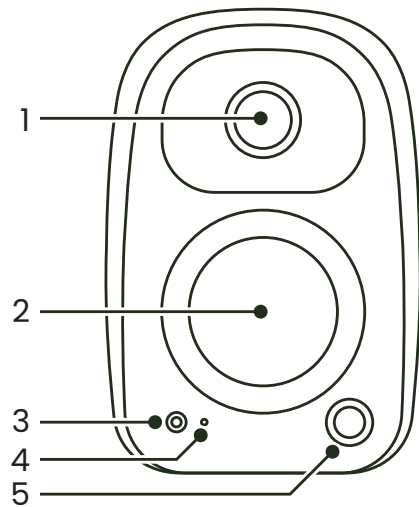
## ボックスの中身



# フロント・リアパネル

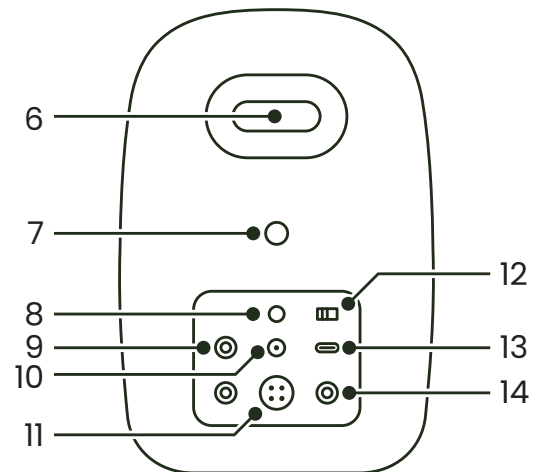
## フロントパネル

- 1 3/4インチシルクドームツイーター
- 2 3インチペーパーコーンウーファー
- 3 ヘッドフォン出力
- 4 LED
  - 緑 - RCA
  - 黄 - USB
  - 青 - ペアリングモード(点滅)
  - ペアリング済み(点灯)Volume /
- 5 音量 / 入力選択 / 電源 On / 電源 Off



## リアパネル

- 6 バスレフポート
- 7 1/4インチ マウンティングホール
- 8 Bluetoothペアリングボタン
- 9 RCAインプット
- 10 DC電源入力
- 11 スピーカーアウトプット
- 12 L/Rチャンネルスイッチ
- 13 USBオーディオ入力
- 14 サブウーファーアウトプット



## スピーカーのセットアップ

Ukiは、ニアフィールド環境でのリスニング体験を向上させるためにデスクトップでの使用を想定して設計されています。また、Ukiは様々な音源と組み合わせたスタンドアロンのステレオスピーカーシステムとしても使用できます。どちらのセットアップにおいても、2つのスピーカー間の間隔と背面の壁からの距離 要です。スピーカーが近すぎたり遠すぎたりすると、ステレオイメージングが十分に発揮されません。

Ukiは、低音のレスポンスを最大限に高めるために、背面の壁から少なくとも20~25cm離して設置することで最適なパフォーマンスを発揮するように設計されています。設置場所にかかわらず、部屋の形、大きさ、家具はそれぞれ異なることをご留意ください。最も満足いくサウンドパフォーマンスを実現する最適な設置場所を見つけるには、ある程度の試行錯誤が必要になる場合があります。

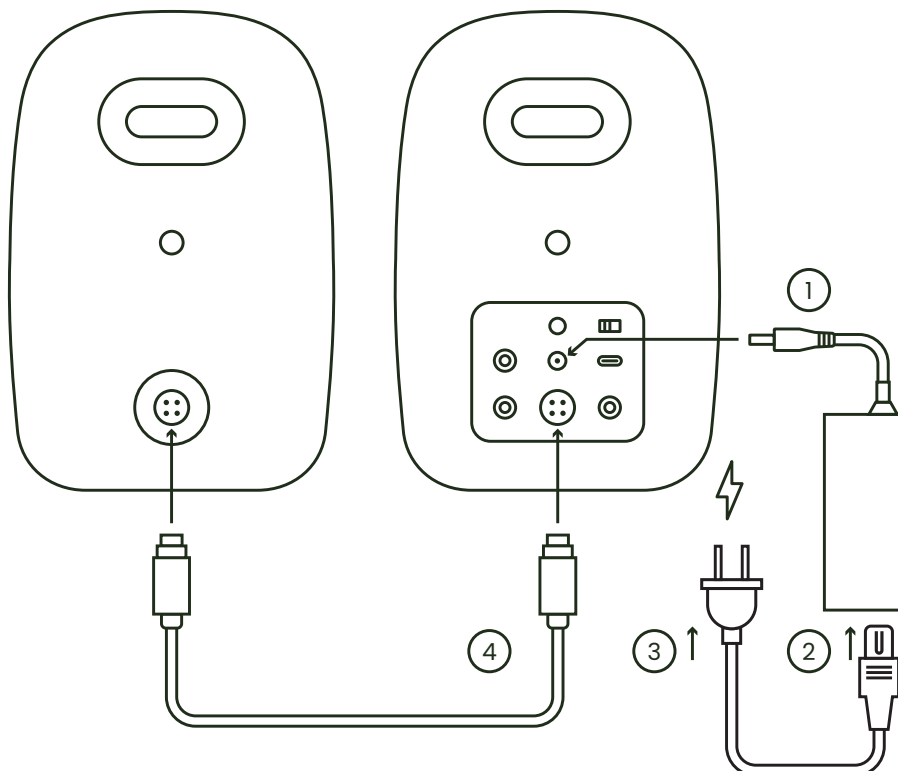
デスクトップ面からの初期反射は音響性能を低下させる可能性があるため、Ukiをリスニングポジションに向けて設置することをお勧めします。Kantoでは、お客様のニーズに合わせて複数のデスクトップスピーカースタンドをご用意しています。

付属のスピーカーケーブルを使用して、2つのスピーカーを下図のように接続します。アクティブスピーカーのスピーカー出力を、パッシブスピーカーの対応するスピーカー入力に接続します。UkiのアクティブスピーカーのAC/DC電源を壁のコンセントに接続します。ボリュームコントロールノブを押して電源を入れます。ノブを押して入力ソースを選択します。最後に使用した入力ソースに応じて、以下の入力順番に切り替わります

RCA → USB → BLUETOOTH® → リピート

長押しすると電源が切れます。押すと電源が入ります。

次のページの指示に従って、オーディオソースをUkiに接続してください。以下のページの例は網羅的なものではなく、あくまでも例です。



### 注意

すべてのケーブルを接続したら、本機の電源を入れてください。

音量を上げると、本機からノイズが発生し、聴力に恒久的な損傷を与える可能性があります。Ukiはセルフパワードスピーカーシステムです。スピーカー端子をステレオアンプのスピーカー出力に接続しないでください。損傷する可能性があります。スピーカーに付属の電源アダプターのみを使用してください。

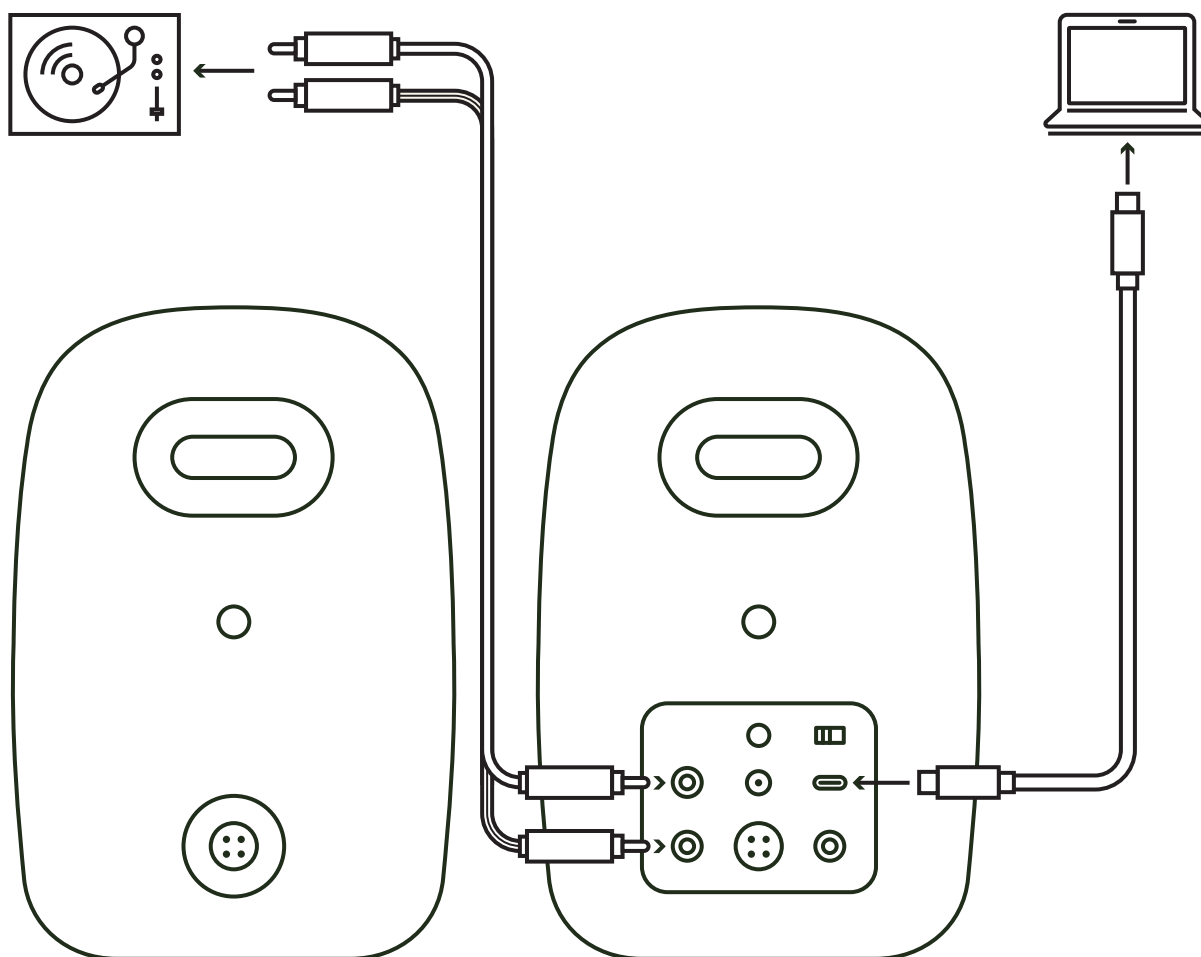
## オーディオソースの接続

適切なオーディオケーブルを使用して、オーディオソースコンポーネントをスピーカーに接続します。

- ステレオRCA-ステレオRCAケーブル
- ステレオRCA-3.5mmステレオミニジャックAUXケーブル
- USB-CからUSB-Cへ
- USB-C - USB-C(USB-Aアダプタ付き)
- USB-CからUSB-Aへ

Ukiは、最大16ビット/48kHzの解像度までデータストリームをサポートする高品質なUSB入力を備えています。USB接続でコンピューターに接続すると、ノイズの多いコンピューター内蔵DACをバイパスし、オーディオ信号はUkiによってデコードされます。

USB を使用して接続するには、入力を USB に切り替え、オーディオ再生デバイスとして「Uki by Kanto」を選択します。



# Bluetooth®を接続する



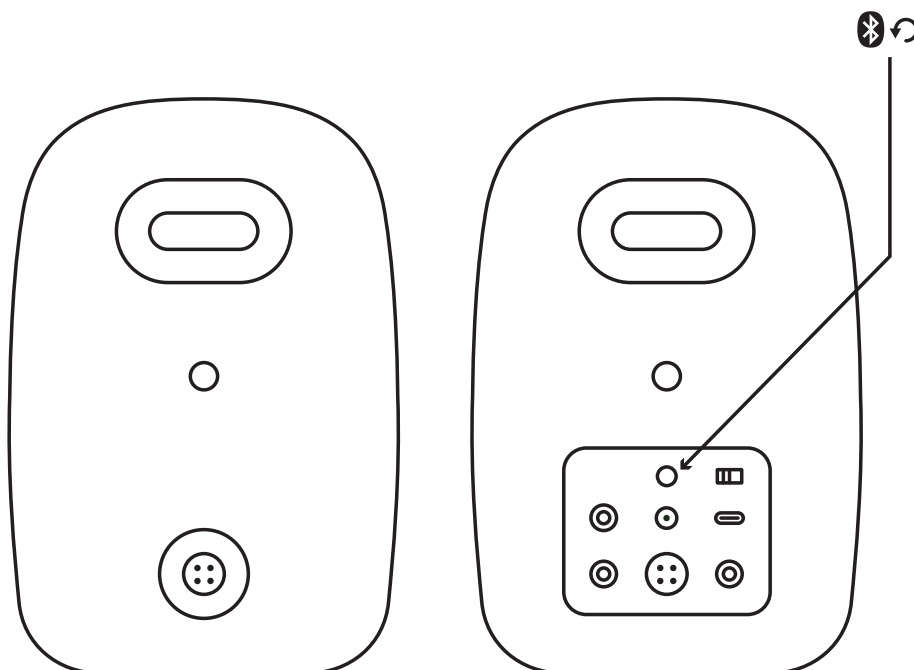
## Bluetooth ペアリング

UkiはBluetooth 5.3を搭載しており、スマートフォン、スマートホームデバイス、タブレットなど、様々なデバイスとペアリングしてワイヤレスオーディオを再生できます。ペアリングは簡単です。

1. 音量ノブを押し、ステータスライトが青になるまで入力を切り替えます。Bluetooth LED(青)が点滅し、Uki がペアリングモードになっていることを示します。ライトが点灯している場合は、Uki が既にデバイスに接続されています。別のデバイスに接続したい場合は、Uki 背面のBluetoothペアリングボタン(🔗)を押してペアリングモードにしてください。
2. Bluetoothデバイスがペアリング可能な新しいデバイスを検索できるようにします。ペアリング可能なBluetoothデバイスのリストから「Uki by Kanto」を選択します。

## Bluetooth の操作

1. スピーカーとデバイス間の距離は10メートル以内にするをお勧めします。この範囲内であれば、信号忠実度は最も高くなります。
2. Bluetooth操作中は、以下の動作と機能にご注意ください。接続に成功すると、青色のLEDが点灯し、デバイスが「Uki by Kanto」に接続されていることが表示されます。
  - 他の入力中は接続はアクティブのままになりません。
3. Uki スピーカーには、アクティブ スピーカーの背面に Bluetooth ペアリング ボタンが付いており、ペアリングしたデバイスをすばやく切断し、2 番目のデバイスをスピーカーとペアリングすることができます。
  - ペアリングされたデバイスを切断するには、Bluetooth ペアリング ボタンを押します。
  - ペアリング手順に従って、別のデバイスをペアリングします

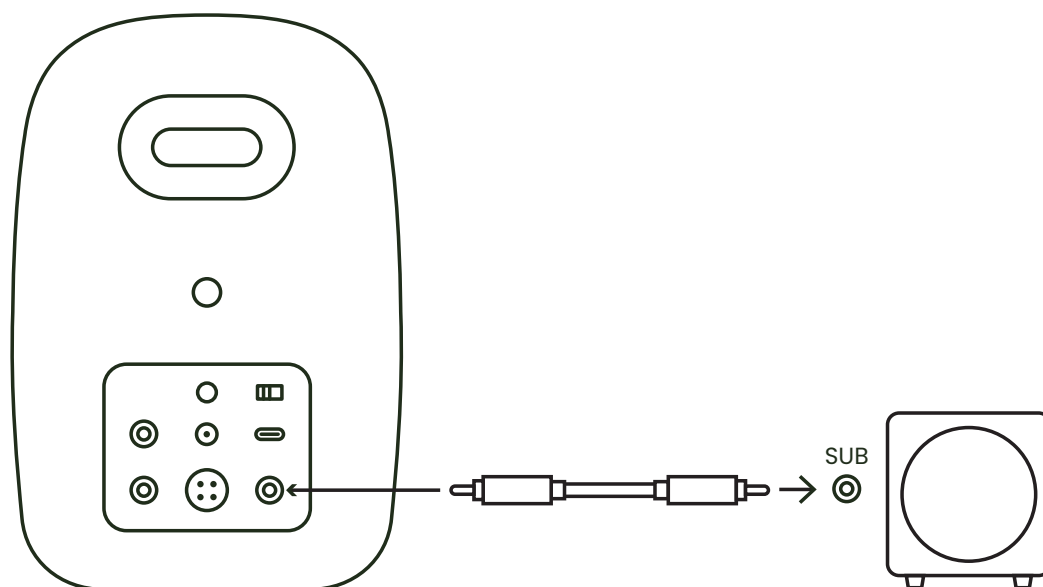


## サブウーファーの接続

Ukiには、パワードサブウーファーに出力信号を供給するためのRCAコネクタが装備されています。UkiのSUB OUT端子からサブウーファーのAUDIO INPUT端子に、RCAサブウーファーケーブルを1本接続するだけです。サブウーファーにステレオL/R RCA入力がある場合は、左右どちらの入力でも動作します。

クロスオーバーとボリュームコントロールを備えたKanto Sub6またはSub8パワードサブウーファーをお勧めします。ほとんどの高品質サブウーファーにはこれらのコントロールが搭載されており、低音の音量を自由に調整できます。

詳細については、Kanto の Web サイト ([www.support@kantoliving.com](http://www.support@kantoliving.com)) をご覧ください。



## アクティブクロスオーバー

Ukiは、サブウーファーとの高度なセットアップを可能にするため、100Hzの自動アクティブクロスオーバーフィルターを搭載しています。このクロスオーバーは、メインスピーカーの低音域の拡張を抑え、中高音域に焦点を合わせながら、SUB OUTポートからの高音域の出力を抑えます。サブウーファーに帯域幅またはクロスオーバー周波数の調整機能がある場合は、最高または最も開放的な設定に調整できます。アクティブクロスオーバーは、サブウーファーケーブルをUkiのSUB OUTポートに接続すると自動的に有効になります。

## アクティブスピーカーの位置

Ukiでは、ステレオ出力のL/Rを切り替えることができます。これは、スピーカーを正しく配置したい場合や、電源コンセントや入力端子に手が届きにくい場合に、正しいステレオイメージ構成を確保するのに役立ちます。アクティブスピーカーの構成は、アクティブスピーカーの背面にあるL/Rチャンネルスイッチで設定します。



# オーディオのトラブルシューティング ガイド

## KantoのUkiスピーカーに関するよくある質問

- フロントパネルのライトがどれも点灯していません。
  - 電源がスピーカーと電源コンセントに接続されていることを確認してください。
  - 電源コンセントから電力が供給されていることを確認してください。
- フロントパネルのライトは点灯していますが、オーディオは再生されません。
  - ソースの音量を最大に設定してください。オーディオソースがオーディオを再生していることを確認してください。
  - 音源と接続されたオーディオケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。別のオーディオケーブルがあればテストしてください
  - スピーカーの音量が最小になっていないか確認してください。スピーカー前面のノブを使って音量を上げてください。
  - 正しい入力を選択されていることを確認してください。スピーカー前面のノブを押して入力を切り替え、正しい入力を選択してください。
- オーディオは 1 つのスピーカーからのみ再生されます。
  - アクティブスピーカーとパッシブスピーカー間の 4 ピンコネクタを再接続します。
  - オーディオケーブルがソース機器としっかりと接続されていることを確認してください。別のケーブルまたはソース機器を試して、問題を特定してください
  - 音源のバランス設定が中央になっていることを確認してください。音源によっては、バランス設定を調整できない場合があります。
- オーディオ品質が低下しています。
  - Set the volume of the source to its highest level. Low source volume can negatively affect dynamic range.
  - ソースの音量を最大に設定してください。ソースの音量が低いと、ダイナミックレンジに悪影響を与える可能性があります。
  - 問題を切り分けるために別の曲またはソースをテストしてください。
- ソースは Bluetooth® に接続されません。
  - 入力を切り替えて、スピーカーがBluetooth®モードになっていることを確認してください。スピーカー前面のノブを、スピーカー前面パネルの青いライトが点灯するまで押し続けてください
  - スピーカーの前面パネルにある青いライトが点滅していることを確認してください。これは、スピーカーがペアリングモードになっていることを示します。青いライトが点滅していない場合は、右側のスピーカーの背面にあるBluetooth®ペアリングボタンを押してください。青いライトが点滅し、ペアリングモードになっていることを示します。
  - ペアリングしようとしているデバイスの電源のオン/オフを切り替えます。
- ブーンという音、ヒスノイズ、または歪みが生じています。
  - スピーカーからすべての音源を取り外して、音源からノイズが発生しているかどうかを確認します。
  - 別の回路にある電源コンセントを試して、電源の問題ではないことを確認してください。
  - オーディオケーブルがソース機器としっかりと接続されていることを確認してください。別のケーブルまたはソース機器を試して、問題を特定してください。
  - USB を使用する場合は、ソースのサンプル レートを 48 kHz 以下に設定します。
- 接続されているサブウーファーから音が出ません。
  - サブウーファーに接続されているRCAケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。別のケーブルやソースを試して、問題を特定してください。
  - サブウーファーが電源コンセントに接続され、「オン」または「自動」に設定されていることを確認します。
  - サブウーファーの音量を上げます。
  - サブウーファーのカットオフ周波数を最高位置まで上げます。

製造元および輸入元:

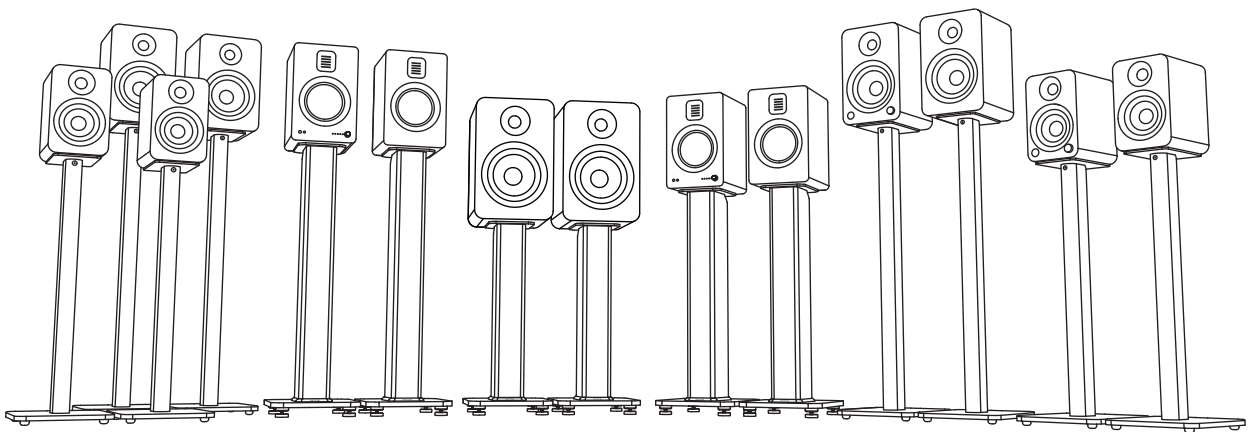
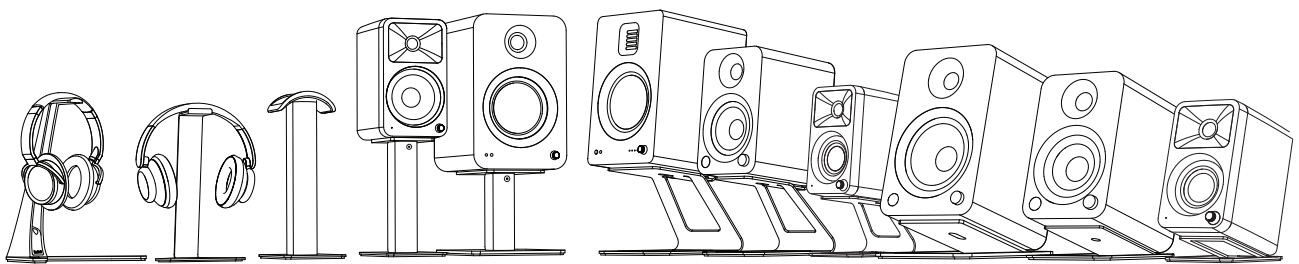
Kanto Living Inc., 9136 196A Street, Langley, BC, カナダ V1M 3B4


# 仕様

## UKI

ツイーター	3/4インチシルクドーム
ウーファー	3インチの紙コーン
アンプの種類	クラスDバイアンプ
電力出力	100Wピーク電力 (合計50 W RMS)
出力(ツイーターあたり)	9 W RMS
出力(ウーファーあたり)	16 W RMS
周波数応答	80 Hz - 22 kHz
ハイパス/ローパスフィルター	100 Hz(自動)
入力	1 x RCAラインレベル  USB-C x 1 (16 ビット/48 kHz)  Bluetooth® 5.3 x 1
出力	サブ出力 x 1  3.5 mmヘッドフォン出力 x 1
スピーカーターミナル	4ピンコネクタ
リア取り付け穴	1/4"-20
アクティブスピーカーの位置	選択可能なL/Rスイッチ
入力電圧/周波数	AC 100 V - 240 V 50/60 Hz
スタンバイ時の消費電力	< 0.5 W


# KANTO



 [kantoaudio.com](http://kantoaudio.com)

 [Kanto Audio](#)

 [kantoaudio](#)

 [Kanto Solutions](#)

 [Kanto Living](#)

## 保証規約

日本国内における保証期間はご購入日から1年です。製品の欠陥が原因で機器が故障し、販売から12ヶ月以内に正規販売店から請求書原本の証明とともに当社に通知された場合、当社は、機器が機械的、電氣的、またはその他の改造を受けていないことを条件に、修理、交換部品の提供または機器の交換を行うことができます。

このマニュアルの情報は慎重にチェックされ、正確であると信じられています。ただし、Kantoはマニュアルに含まれる可能性のある誤りについて一切の責任を負いません。いかなる場合においても、Kantoは機器の欠陥に起因する直接、間接、特別、付随的、または結果的な損害に対して責任を負いません。この保証は、その他の明示または黙示の保証を含む、すべての保証の代替となります。特に商品性や特定の目的への適合性に関する保証を含む、すべての黙示の保証は明示的に否認されます。



1-888-848-2643



[www.kantoaudio.com](http://www.kantoaudio.com)



[support@kantoliving.com](mailto:support@kantoliving.com)

# KANTO